



No.232

広 報

きたうら

人口と世帯数

	7月1日現在
人 口	11,278(－3)
男	5,637(－3)
女	5,641(±0)
世帯数	2,603(－1)

昭和58年7月発行・編集／茨城県行方郡北浦村役場



GO! 夏休み



子どもたちは、暑い夏、水遊びが大好きです。

夏休みを楽しく、良い思い出にできるよう家族みんなで過ごしましょう。

▲
◀ 津澄小プール



ささやかな、
わが家の
「あいさつ運動」

「おはよう」というあいさつではじまる朝は、実にすがすがしく、ほのぼのとした気分になります。なにげなく交わされる「あいさつ」その言葉の中に、実は、感謝、尊敬、親愛、さまざまな感情が含まれているように思われます。とにかく豊かな気分になるのです。

わが家での、家族みんなの約束は、「あいさつをしましう」ということです。小学校三年生になる長男の真也が、「ただいま」と帰ってきたときそこに父親がいたら、「おかえり」と言っておくこと。六年生になる幸代が、お使いか

ら帰ってきた時に、私は「おかえりなさい」と「ありがとう」を忘れずに言うこと。夜おもしろいテレビ番組が終わって寝る時に、家族四人が「おやすみなさい」の言葉を交わし合うこと。わが家での「あいさつ運動」を始めたのは、私の発案で八年前のことです。核家族、親子の断絶、そんな言葉を新聞やテレビでしばしば、見たり、聞いたり致しませんでした。別に、それに刺激を受けたというわけではありません。実は、私が子供のころ父母より、しつけられ、私自身、三十四年間の歳月をふりかえり、とてもプラスになったと思っただけです。或は又、横断歩道を渡る小学生を、自動車をとめて待っている時、運転手の方を向いて、ピヨコリと頭を下げ、「ありがとうございました」といっているラ

つの言葉を交すという、それだけのことの中に、実は大きな意味や効果があったのではないかと、ひそかに思っている私です。

第一に、二人の子供たちが社会生活の中で自然なあいさつができるようになってきている姿をみます。夫の会社の方がみえた時、三年生の真也はそれなりのあいさつをしていました。特に、教えたわけではありません。まして、やんちゃ盛りの子供だとばかり思っておりませんでした。さすがに娘は六年生ですから、一緒に歩いている、よそのお宅に訪問しても、一度も恥をかくことはありません。しかも、変に足し、つけではないと、ひそかに喜んでいるのは親バカ故にでしょうか。



第二に、わが家の会話のぎやかなこ

と。特に夕食は一番楽しいひとときです。学校でのできごとが必ず話題の中心になります。よくまあ、これだけ話すことがあるなあと思います。友達のこと、勉強のこと、おもしろかったこと、くやしかったこと、時には先生から叱られたこと……。

真也は最近、特に知識欲がでたとも言っている。……「……それじゃ、これ、どうしてなの。」……でも、おかしいよ。だつてさ、……。日曜日の昼下がりのひととき、夫と真也の長く続く質疑応答に、思わず娘と二人で顔を見合わせてしまいます。

何でも話し合えるわが家だな。今、私はそう思っています。

第三に、わが家には秘密がないこと。

これは、何でも話せる第二の項と、表裏の関係にあるように思います。もちろん、私たちにも、子供たちの知らない、大人としての悩みや不安も少なくありません。勤務の関係で、夫に転勤があること、の不安。又、忙しい仕事なので特に帰宅が遅く、子供たち

との接触時間の不足とか、体の心配、経済のこと、将来のこと……。

しかし、暗いじめじめとした秘密はありません。明るい幸せな家庭だと思っています。二人の子どもを、りっぱな社会人に育てあげるまでの親の心づかいは、実に大変なことですが、家庭での話し合いほど、大切なものはないと思っています。みんなで話し合えば不平、不満も解決できるのではないのでしょうか。それぞれの言い分を思う存分話し合う。

はたして、子供たちが、中学校、高等学校と進み、反抗期をむかえた時にはどうでしょうか。まだまだ、安心はできませんが。

子供が、思春期の悩みをもち、親のところに相談にくる。いつ相談にいられても即答できずに、私たち、親自身も時代にとり残されたいように勉強し、自分をみがいていかなければならないと思っております。

(茨城県PTA連絡協議会
発行・家庭教育実践事例集
「愛の記録」より)

善意

勤労者美術展の作品募集

県では、十月一日から六日まで県民文化センターで開催する「勤労者美術展」の作品を募集します。

○種目：洋画・写真・書道

○応募資格：県内に住所、又は職場を有する勤労者

○受付：九月十日・十一日

○出品作品の規格など詳しくは県庁労政課（☎〇二九二二二一八）一内線三四一〇へお問い合わせください。

百里基地

チビッ子大会のお知らせ

八月十九日（金）の午前中航空自衛隊百里基地が、子供たちに開放されます。

当日は、ジェット機（F-4EJ・RF-4Eなど）の飛行訓練や写真撮影、化学消防車などの展示が催されます。

- 津澄小学校へ
- 一輪車（競技用）「二台」
 - 阿須間研子さん（山田）より
 - 一輪車（競技用）「一台」
 - 平山行之さん（吉川）より
 - 大時計（室内用）「一個」
 - 小沼哲治さん（吉川）、横瀬正孝さん（山田）、高柳孫市郎さん（山田）より
 - 古タイヤ「十五本」 森弘さん（山田）より
 - 三和小学校へ
 - 航空写真（学校上空）「一枚」
 - 樹木（ヘマテバシイ）「二十本」
 - 河野豊さん（三和）より
 - 大鏡「二枚」
 - 昭和五十六年度・五十七年度卒業生より
 - 電柱「十本」
 - 東京電力石岡営業所より
 - 電柱輸送（石岡、三和）
 - 関通電設（株）より
 - 鶏「七羽」
 - 沼田儀男さん（三和）より
 - テレビ台「五台」
 - フレイム温室」三和区民より
 - 公民館へ

○ 献本「二四冊」 河野藤一さん（三和）「一三七冊」 塙藤夫さん（次木）より

北浦村へ

- テント「一張」
- 玉造ロータリークラブより
- 社会福祉協議会へ
- 金四千五百参十円也
- つき愛好会（代表・森崎要）より
- 金貳万円也
- カスミストアーグループより
- 金参万円也
- 額賀ぎんさん（次木）より
- 金四千零百貳十八円也
- 水戸ヤクルト販売（株）より
- 金壹万円也
- 茂木信夫さん（繁昌）より

金融機関

八月から
毎月第2土曜日
が休みに
なります

県職員・市町村立小中学校職員・県警察官採用試験の案内

試験の名称	職 種	受 験 資 格	申込受付期間	試 験 日	
				第 1 次	第 2 次
県職員	中 級	事務・栄養士	昭和31年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれた者 8月22日～9月5日	10月16日	28日 11月30日
	初 級	事務A・事務B・林業・土木・交通巡視員			
小中学校職員	中 級	栄養士	昭和31年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれた者 同 上	同 上	同 上
	初 級	事務（県全域・県南地域）			
警察官	A	（大学卒業生又は昭和59年3月までに大学卒業見込みの者）	昭和31年4月2日から昭和37年4月1日までに生まれた男子 9月26日～10月26日	11月6日	59年 11月12日
	B	（A以外の者）			

▶申込用紙は…… 申込用紙を郵便で請求する場合は、封筒の表に「中級請求」・「警察官A請求」等と朱書きし、返信用封筒（70円切手をはったあて先明記のもの）を必ず同封して下記のところへ請求してください。なお、申込用紙を直接受領したい場合は、中級・初級試験関係は人事委員会事務局、鹿行地方総合事務所で、警察官採用試験関係は麻生警察署で。

▶各試験についてのお問い合わせは…… 茨城県人事委員会事務局（水戸市三の丸1-5-38 県庁内 ☎310 ☎0292-21-8111 内線5321～3）※警察官採用試験については、茨城県警察本部警務課採用係又は麻生警察署で。

参院選挙

投票率 49.51%

八十年代後半の政治の動向を占うと言われた参議院議員選挙の投票は、六月二十六日に村内八カ所の投票所で行われました。
投票率は、県の平均を下回る、四九・五一%でした。

政党名等	得票数
自由超党派クラブ	10
新自由クラブ民主連合	60
田中角栄を政界から追放する勝手連	4
第二院クラブ	34
サラリーマン新党	48
公明党	516
日本国民政治連合	19
MPD・平和と民主運動	10
日本共産党	185
雑民党	5
教育党	8
日本社会党	868
自由民主党	1,913
無党派市民連合	17
民社党	161
世界浄霊会	1
福祉党	81
日本世直し党	3
(無効 108)	

比例代表選出政党得票数

投票区	有権者数	投票人員	投票率
繁昌	1,577	903	57.3
山田	1,238	676	54.6
南高岡	500	224	44.8
小幡	902	402	44.6
行戸	610	197	32.3
小貫	1,306	526	40.3
両宿	1,286	664	51.6
三和	764	459	60.1
計	8,183	4,051	49.51

選挙区選出得票数

そねだ 郁夫	827票
郡 祐一	1,683票
山田 せつお	216票
高杉 みちただ	1,230票
(無効 95)	

県政教室に参加を

今年、昭和六十年に開催される国際科学技術博覧会(EXPO'85)の会場「筑波研究学園都市」をたずねます。

熱帯農業センター・科学博会場・筑波センタービルなど新しい茨城のすがたを確かめてみましょう。

この教室は、バスを利用します。参加費用は無料。(昼食は各自用意)

●実施日とコース

十月六日(木曜日)

鹿島町役場発：銚田駅(8時55分)：玉造駅(9時25分)

：筑波研究学園都市：↓帰路

●募集人員 先着四十五人

●参加資格 十八歳以上の方

●申込方法

官製往復ハガキに、住所・氏名・年齢・性別・電話番号

職業・乗車希望場所と「Bコース」を記入して、鹿行地方

総合事務所総務課(銚田町富士峰一三六七・三・③41

11内線20

2へ。申し込

みは八月十五

日から。



庁内人事

◎新採

出納室・主事補

井川美佐子(成田八四二)

建設課・主事補

勢司 浩之(山田二九三)

調査企画室・主事補

横瀬 浩司(山田一六九三)

七月一日付
よろしく願います。



あとがき

〇いよいよ子供たちにとって待ちに待った夏休みです。その一方で非行に走る機会が多いのもこの長い休みの間です。親子の対話が行なわれている家庭からは、非行は生まれにくいといえます。親子のふれあい家族そろってだんらんする機会をつくってください。